

探究科課題研究 中間発表会①(ポスターセッション) 報告

日 程 令和6(2024)年9月9日(月)
14:45～ 会場設営
15:00～16:20 中間発表会
16:20～16:35 片付け・反省会

会 場 大講義室

参加生徒 2学年探究科(3・4組)

ねらい・仮説

年2回実施する中間報告の1回目であり、それぞれの研究のフェーズとしては「仮説→実験→結果→考察」の1サイクルが概ね終了、または予備実験を終えた段階である。この段階で、普段の指導者以外の第3者に広く実施報告と意見交換を行うことで、生徒の課題設定、検証手法、考察力などの向上や、研究の見直し、質の向上につながると考える。

また、発表準備にかかる労力や時間的なリソースをできるだけ研究に充てるため、通常の発表スライド(パワーポイントや Google スライドなど)の発表スライドをつなげ合わせる形で、簡便なポスターを作成させた。

ポスターのスライドごとに、記載すべき情報の種類を分けて作成させることで、研究発表に最低限必要な要素や、発表の流れのセオリーを意識でき、スムーズな研究発表のスキル向上につながると考える。

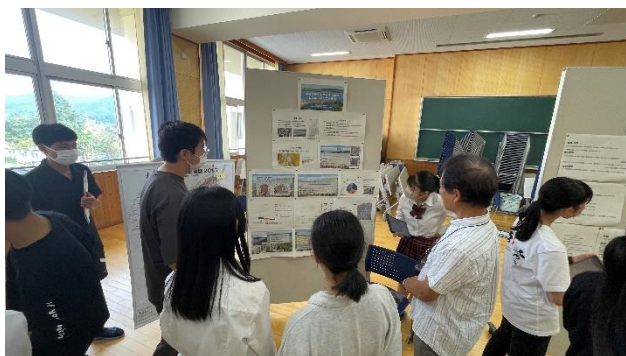
以上のことから、今回のポスターセッション形式で実施した。詳細は資料を参照。

報 告

全21の研究グループを、前半と後半に分け、ポスターセッションを実施した。各ポスターでは、生徒同士のディスカッションが盛んにおこなわれた。また、授業担当の指導教員以外も会場を訪れ、研究への助言や、自らの探究の授業の研修の場としていた。

外部助言者として、屋代高校 SSH コーディネーターの山本 博章先生(信州大学工学部の特任教授)にもお越しいただき、他校の様子や情報交換とともに、研究への助言もいただいた。

ポスターセッション後に、研究テーマの軌道修正や、実験方法の見直しなどを行うグループがあった。また、実験結果の分析、データ処理において課題も見られた。文系的なテーマに対して、理科的・数学的な分析方法の提案を受け、検討するグループなどもあった。生徒たちは自らの課題設定を見直す機会として有効に機能したと考える。



(参考資料)

*指導書より抜粋

方 法

①ポスターについて

- ・課題研究チームごとポスター (A3 または A4 を数枚分) を作成し、パネルに掲示する
- ・ポスターには次の要素を必ず含める

【タイトルで 1 枚】大きく目立つように!

- ①研究動機・目的・先行事例
- ②研究・実験方法 使用器具
- ③結果・考察(中間報告)
- ④今後の計画 他

②③が重要!
枚数多くても OK

- ・当日はポスターを用いて、研究計画を口頭で説明する

②発表について

- ・研究チームを【前半】【後半】の時間に分けて実施
- 【助言者・先生方・発表していないチームの生徒】
- ・興味のあるポスターへ行き、ディスカッション
- 話した質問・意見は「付箋」に書き、ポスターに貼っていく

【発表チーム】

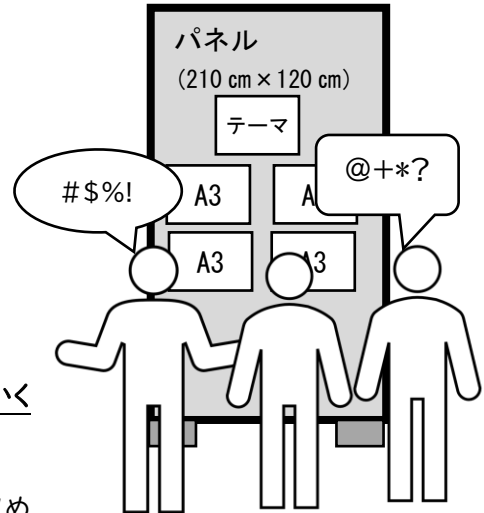
- ・ポスターを訪れた人に、研究計画を説明&ディスカッション
- ・発表会終了後、ポスターと貼ってもらった付箋ごと、写真に収め
- GoogleClassroom へ提出 (付箋は Goodjob シートへ集める)

③【注意】資料・ポスター作成について

- ・先行研究があれば、明記する
- ・著作物の無断使用はしない(図、写真、イラストなど)
- ・データなどを引用する際は、引用のルールに従う(出所の明示、どこからどこまでが引用かわかるように)

④タイムテーブル

時間	内容
14:35	5限終了後、大講義室集合 【準備】大講義室の机・椅子、パネルを会場図の形に移動(生徒) 1枚のパネルの表(前半)と裏(後半)に各チームのポスターを掲示 各チームのポスター付近で待機
15:00	開会行事 *生徒は各チームポスター付近で参加
15:10~15:45	ポスターセッション【前半】35分
	前・後半入れ替え
15:45~16:20	ポスターセッション【後半】35分 *終了後その場で閉会行事・連絡
16:20~	大講義室の机・椅子の復元(生徒) 指導教員と反省会・今後の打ち合わせ
16:45~	探究実践 I 担当者 打ち合わせ



⑤ 会場図

